



キャロウェイ、ピン等、特殊なネックとソケットを備えたヘッドのシャフト抜き時に使用します。こうしたヘッドでは従来、シャフトをソケット部で切断し、ホーゼル内部に残ったシャフトをドリル等で取り除く等の特殊な作業が必要な場合もありましたが、本品を使用すると、より通常手順に近いヘッド抜きが可能になります。

必ず、お読み下さい！

ソケット、カーボンシャフトの再利用は、メーカー保証の対象外となり、加熱による変質により従来の性能を発揮できない可能性もありますので、自己責任で行って下さい。ヘッドを加熱後、本品とヘッドが接触する部分で、ヘッドの塗装が変質する場合があります。濡らしたセーム革等を挟む等、熱と力が集中しないような対策を講じる事で、変質を防げる場合があります。

特殊なソケットを使用しているクラブでは、ヘッドのシャフト挿入部の加熱により、ソケットを固定している接着剤が溶融してしてしまう場合があります。

この場合はヘッドとソケット、双方を再利用できない場合がありますので、ご注意下さい。ヘッドの加熱された部分に本品が触れると、変形する場合があります。変形後も機能的には問題ありませんが、可能な限り、本品に熱が伝わらないよう遮熱材等をご利用下さい。

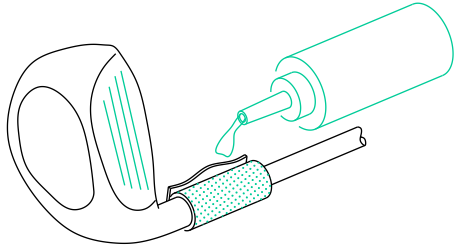
【必要器具】

- ・グリップを取り除いたクラブ
- ・ヒートガン (5663-0003 Geotech HG-900ヒートガン等)
- ・ヘッド抜き工具 (5604-0031エコノミーヘッド抜き工具等)
- ・セーム革等の遮熱材

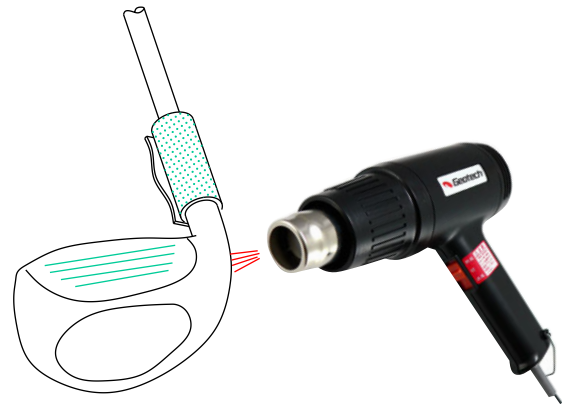
【作業を容易にする器具】

- ・ホーゼル内部清掃器具 (TL03ホーゼルクリーナーキット等)
- ・シャフト挿入部清掃器具 (5605-0231マジックサンダー等)
- ・ソケット抜き取り器具 (5604-0141ソケット抜き器)

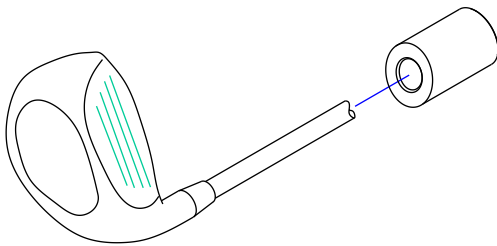
【使用方法】



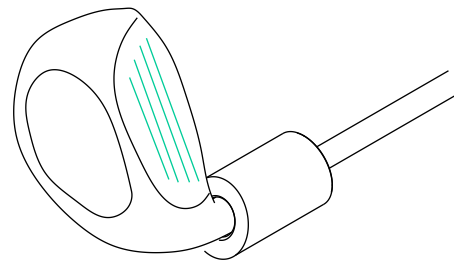
ソケットの溶解を防止するため、セーム革をホーゼル部分に巻き付け、水で湿らせます。



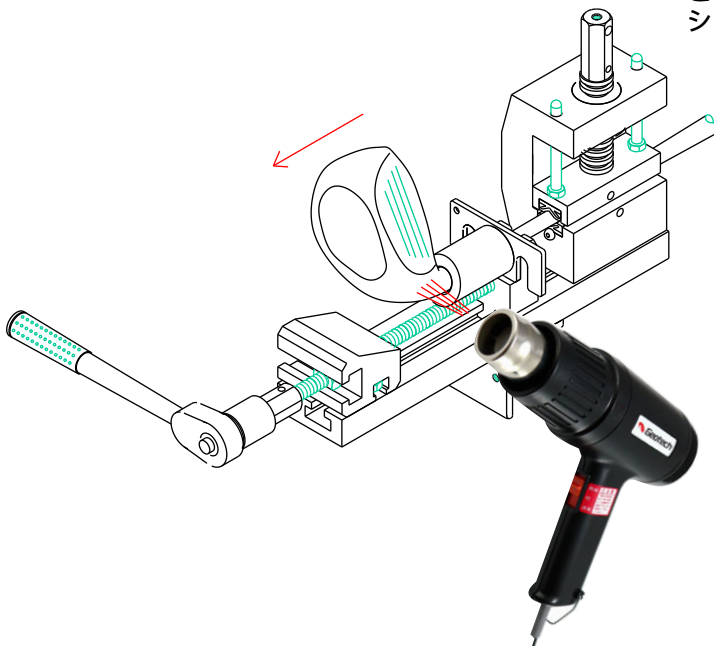
ヘッドのシャフト挿入部分を満遍なくヒートガンで加熱し、接着剤を溶融させます。こうした特殊なネックのクラブは、比較的溶融しにくい接着剤を使用している場合もあるため、十分に加熱して下さい。



セーム革を取り除き、本商品をクラブのバットエンドから挿します。



ヘッド抜き工具にクラブのヘッド部を固定し、本商品をヘッドとヘッド抜き工具のプーラー部の間にセットして、ヘッドの上面にしっかりと密着させます。こうすることで、プーラーに押された本商品がヘッドをシャフトから引き抜きます。



プーラーがヘッドを引き抜く力を少し加えた状態で、再度、ヘッドのシャフト挿入部分を満遍なくヒートガン等で加熱します。この時、ソケットを傷めないようにご注意ください。

ヘッド抜き工具のプーラーをさらに引き抜き方向に動かして、ヘッドを抜き取ります。

ヘッドのホーゼル内部の清掃、シャフトの挿入部分の清掃を行ったら、ソケット抜き取り器具等を用いて、シャフトからソケットを抜き取り、作業は完了です。